

## 2017花き生育情報(ユリ球根肥大及びノーズ形成・第1報)

### オリエンタル系ユリの球根肥大状況について(9月15日現在)

平成29年9月29日  
経営普及課  
(農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センター、中山間地農業技術センター、高冷地農業技術センターにおけるオリエンタル系ユリ球根定期観測結果から、今年の球根肥大及びノーズ形成状況について紹介します。

#### 1 供試球根

- (1) 供試品種 カサブランカ (オランダ産TYS球根)  
(2) 球根サイズ及び前年・平年値との比較 (平年値は2007～2016年の平均)

年度	球根 サイズ	球根重 (g)	球周 (cm)	りん片 (枚数)	葉数 (枚)
2017	14/16	45.4	15.3	25.8	37.5
2016	14/16	47.3	16.2	25.7	35.8
平年値	14/16	48.0	15.5	25.6	39.3

※各センターとも同一ロットの球根を供試し、園芸研究センターで調査した。

#### 2 耕種概要

観測場所 (所在地)	園芸研究センター (聖籠町)	中山間地農業技術セ ンター(長岡市川口)	高冷地農業技術セ ンター(津南町)	
栽植距離	20×20cm、4条植	20×20cm、4条植	20×20cm、5条植	
定植日(前年度)	4月3日(4/1)	5月2日(4/19)	5月2日(4/27)	
施肥 N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O (kg/10a)	基肥	15-15-15(3/30)	10-10-10(4/10)	19-15-19(4/28)
	追肥 (実施日)	5- 5- 4(6/2)	5- 5- 4(6/15) 7- 7- 8(7/24)	3-4.2-3.6(6/26) 3-4.2-3.6(7/18)

#### 3 生育・葉分化等の状況

- (1) 各センターとも5～6月の少雨により、生育が一時停滞し、茎長は前年を下回った。  
(2) 開花盛期は、前年に比べて定植が遅かったことや6月の低温の影響を受け、各センターとも前年より10日前後遅く、園芸研究センターで7月21日(前年7月11日)、中山間地農業技術センターで8月2日(前年7月22日)、高冷地農業技術センターでは8月6日(前年7月31日)となった。  
(3) 球根肥大は、園芸研究センターと中山間地農業技術センターでは平年に比べてやや劣っており、高冷地農業技術センターではほぼ平年並である。  
(4) 高冷地農業技術センターでは、新球内のノーズの立ち上がりが確認されている。

#### 4 具体的データ

添付ファイル「L20170915data」及び図1～図6を参照。



図1 園芸研究センターにおける生育状況（左：球根養成ほ場、右：調査株）



図2 園芸研究センターにおける球根の肥大状況（左：球根全体、右：新球）



図3 中山間地農業技術センターにおける生育状況（調査株）



図4 中山間地農業技術センターにおける球根の肥大状況（左：球根全体、右：新球）



図5 高冷地農業技術センターにおける生育状況（左：球根養成ほ場、右：調査株）



図6 高冷地農業技術センターにおける球根の肥大状況（左：球根全体、右：新球）